



令和5年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和4年8月10日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4097 URL <https://www.koatsugas.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)黒木 幹也
問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員管理本部長 (氏名)池田 佳弘 (TEL) 06 (7711)2570
四半期報告書提出予定日 令和4年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第1四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第1四半期	21,504	10.9	1,217	△1.4	1,607	9.8	1,048	4.6
4年3月期第1四半期	19,384	6.8	1,234	45.3	1,463	47.1	1,002	54.8

(注) 包括利益 5年3月期第1四半期 836百万円(1.2%) 4年3月期第1四半期 826百万円(△36.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
5年3月期第1四半期	円 銭 18.99	円 銭 —
4年3月期第1四半期	18.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
5年3月期第1四半期	百万円 99,120	百万円 66,292	% 66.2
4年3月期	98,400	65,901	66.3

(参考) 自己資本 5年3月期第1四半期 65,675百万円 4年3月期 65,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
4年3月期	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 16.00
5年3月期	—	—	—	—	—
5年3月期(予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 令和5年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭

3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	9.6	2,500	8.7	2,700	2.8	2,100	1.6	37.78
通期	87,000	5.4	5,100	8.0	5,600	3.6	3,800	△8.4	68.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

5年3月期 1 Q	55,577,526株	4年3月期	55,577,526株
5年3月期 1 Q	373,450株	4年3月期	373,450株
5年3月期 1 Q	55,204,076株	4年3月期 1 Q	55,204,312株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第1四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着きを見せ、国内の行動制限が緩和されたものの、中国主要都市のロックダウンによるサプライチェーンの停滞に加え、ウクライナ情勢の長期化、資源価格等の上昇や円安の進行などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は215億4百万円（前年同期比10.9%増加）、営業利益は12億17百万円（前年同期比1.4%減少）、経常利益は16億7百万円（前年同期比9.8%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億48百万円（前年同期比4.6%増加）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、自動車、半導体など一部の仕向け先において、需要が回復せず、更に原材料の高騰や供給制限が続く厳しい状況で推移いたしました。このような事業環境のなか、当事業ではシリンダーガスビジネスの持続的な成長や収益の改善を目指し、地域に密着した営業に努めてまいりました。

『溶解アセチレン』は、建設及び土木関連の現場及び造船業界向けの出荷数量が減少したものの、原材料の上昇による価格転嫁により、売上高は前年同期を上回りました。『その他工業ガス等』は、窒素が大手ユーザーの定修向けとアルゴンが自動車関連ユーザー向けに出荷数量がそれぞれ減少しましたが、新規ユーザーの獲得や原材料の上昇による価格転嫁、また、LPガス等の石油系ガスでは出荷数量が減少したものの、輸入価格の高騰に伴う販売価格の上昇により増加し、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備工事や工作機械等の受注が一部で回復し、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、一般工業用向け容器の出荷数量が減少したものの、原材料の上昇による価格転嫁により、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は157億42百万円（前年同期比11.4%増加）となりました。営業利益は13億2百万円（前年同期比23.9%増加）となりました。

② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、原材料の高騰や、供給制限、供給不足が続く厳しい状況で推移しました。このような事業環境のなか、当事業では仕向け先への製品の安定供給に努め、また、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品づくりに努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが木工用が減少したものの、塗料用及び紙用が新製品の開発により増加、シアノンが欧米向け工業用が減少したものの、韓国向けにコンシューマー用の需要が増加、ペガロックが海外向けが中国主要都市のロックダウンの影響により需要が減少したものの、国内向け需要が回復し増加しました。また、接着剤全般の価格転嫁もあり前年同期を上回りました。

『塗料』は、建築用塗料が高機能品の「ウォールバリアシリーズ」や「ビーズコートシリーズ」の伸長や塗料製品の価格転嫁もあり増加し、また、エアゾール製品は需要が回復し、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は50億3百万円（前年同期比12.2%増加）となりました。営業利益は原材料の高騰の影響を受け2億29百万円（前年同期比48.3%減少）となりました。

③ その他事業

その他事業は、LSIカード関連及び食品添加物の需要が減少して前年同期を下回り、売上高は7億57百万円（前年同期比5.6%減少）、営業損失は38百万円（前年同期は、1百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億19百万円増加して991億20百万円となりました。流動資産は、棚卸資産が増加したものの、現預金が減少したことにより前連結会計年度末に比べ10億31百万円減少して、539億44百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の時価が下落したものの有形固定資産が増加したことにより前連結会計年度末に比べて17億50百万円増加し、451億75百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億28百万円増加して328億27百万円となりました。流動負債は、電子記録債務が増加したものの、未払法人税等などの減少により前連結会計年度末に比べ37百万円減少し、256億44百万円となりました。固定負債は、長期借入金や繰延税金負債が増加したことにより前連結会計年度末に比べ3億66百万円増加し、71億82百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ3億91百万円増加して662億92百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大による今後の影響を適正かつ合理的に算定することが非常に困難な状況のため、現時点においては令和4年5月13日に発表いたしました連結業績予想から変更はありませんが、今後、連結業績予想修正の必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,969	22,241
受取手形及び売掛金	21,067	20,687
電子記録債権	4,308	4,745
商品及び製品	2,944	3,247
仕掛品	613	716
原材料及び貯蔵品	1,631	1,672
その他	555	697
貸倒引当金	△115	△65
流動資産合計	54,975	53,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,841	11,568
機械装置及び運搬具（純額）	3,583	4,410
土地	14,990	15,120
建設仮勘定	2,041	1,229
その他（純額）	1,192	1,255
有形固定資産合計	31,649	33,583
無形固定資産	691	688
投資その他の資産		
投資有価証券	9,862	9,599
繰延税金資産	187	137
その他	1,084	1,264
貸倒引当金	△51	△97
投資その他の資産合計	11,083	10,904
固定資産合計	43,424	45,175
資産合計	98,400	99,120

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,923	10,626
電子記録債務	7,642	7,863
短期借入金	1,305	1,305
1年内返済予定の長期借入金	10	120
未払法人税等	1,331	211
賞与引当金	1,255	606
その他	3,213	4,911
流動負債合計	25,681	25,644
固定負債		
長期借入金	4,634	4,833
退職給付に係る負債	7	83
役員退職慰労引当金	24	22
繰延税金負債	1,440	1,530
その他	710	713
固定負債合計	6,816	7,182
負債合計	32,498	32,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,811	2,811
利益剰余金	56,038	56,646
自己株式	△200	△200
株主資本合計	61,535	62,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,643	3,438
為替換算調整勘定	13	△3
退職給付に係る調整累計額	93	97
その他の包括利益累計額合計	3,750	3,532
非支配株主持分	615	617
純資産合計	65,901	66,292
負債純資産合計	98,400	99,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
売上高	19,384	21,504
売上原価	13,749	15,726
売上総利益	5,634	5,777
販売費及び一般管理費	4,399	4,560
営業利益	1,234	1,217
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	114	132
為替差益	8	170
受取手数料	18	21
その他	129	123
営業外収益合計	272	448
営業外費用		
支払利息	5	6
その他	38	52
営業外費用合計	44	58
経常利益	1,463	1,607
投資有価証券売却益	18	0
その他	5	—
特別利益合計	23	0
税金等調整前四半期純利益	1,487	1,607
法人税、住民税及び事業税	286	322
法人税等調整額	189	230
法人税等合計	476	552
四半期純利益	1,010	1,055
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,002	1,048

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
四半期純利益	1,010	1,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△286	△205
為替換算調整勘定	96	△16
退職給付に係る調整額	4	3
その他の包括利益合計	△184	△218
四半期包括利益	826	836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	822	830
非支配株主に係る四半期包括利益	4	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,123	4,458	803	19,384	—	19,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,123	4,458	803	19,384	—	19,384
セグメント利益	1,050	445	1	1,497	△262	1,234

(注) 1 セグメント利益の調整額△262百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,742	5,003	757	21,504	—	21,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,742	5,003	757	21,504	—	21,504
セグメント利益又は 損失(△)	1,302	229	△38	1,493	△276	1,217

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△276百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。